



当社グループにおける再発防止の進捗について
(第8回)

2025年3月25日

日本軽金属ホールディングス株式会社

1. 調査結果および再発防止の報告・共有

(1) 従業員説明

(2) 顧客説明

(3) 責任の所在

(4) 未調査事業所の調査

2. 経営改革の推進

(1) グループ・ガバナンス体制の再構築 - グループ連携の強化

(2) 当社とグループ会社の関係再構築

(3) グループでの経営課題・リスクへの対処

(4) 営業・開発・製造・品質保証・各部門による組織横断的な対応

(5) 品質保証体制の再構築

① 当社品質保証体制の強化

② 品質監査の強化

③ グループ全体での品質保証体制の強化と整備

④ グループ子会社間の協力と相互牽制の体制整備 ※④については③と統合

⑤ 品質保証機能への経営資源投下

(6) 不断の検証

(7) 当社取締役会による監督強化

3. 内部統制機能の強化

(1) 取締役会の監督のもとでの、実行的な内部統制システム構築・運用

(2) 企業風土の改革

(3) 情報の報告・連携の強化

(4) コンプライアンス強化活動の推進

(5) 内部監査部門の強化

(6) 内部通報制度改革

(7) 外部リソースの活用

再発防止策概要

再発防止策概要の詳細につきましては、添付資料「[表2] 再発防止の進捗（2025年3月版）」をご参照ください。

【進捗状況凡例】 「完了」対策が完了または実施項目を精査の上、運用開始を確認したものは **完了** (2025年3月報告(第8回)にて完了したもの)
 「実施中」対策を開始し実施中、今後範囲・定着状況確認(10項目)
 「検討中」対策の方向性・内容等を検討中

【完了目標】 見直し・更新・訂正した項目を **オレンジ色** にて記載

経営改革の推進

(1) グループ・ガバナンス体制の再構築 -グループ連携の強化-		【進捗状況】	【完了目標】
子会社のグルーピング		完了	2025年3月
(5) 品質保証体制の再構築			
③ グループ全体での品質保証体制の強化と整備 体制・ルールの整備		完了	2025年3月
⑤ 品質保証機能への経営資源投下 適正人員の把握の指導・支援 検査機器の自動化推進		実施中 実施中	2025年4月 2026年3月
(6) 不断の検証			
再発防止策の検証 進捗管理および効果検証、進捗状況の公表		実施中	2026年3月

(7) 当社取締役会による監督強化	【進捗状況】	【完了目標】
計画的な後継者育成・登用 取締役会運営面での改善	<div style="background-color: #f4a460; padding: 5px; text-align: center;">完了</div> 実施中	2025年3月 2025年6月

内部統制機能の強化

(2) 企業風土の改革		
② 新しい企業理念が役職員へ浸透、定着するための取組み 経営者-従業員の対話（拠点長会議・職場行脚） 浸透、定着のモニタリング（匿名従業員サーベイ3回目以降） ③ 忌憚なく声を上げられる風土づくり 経営者-従業員の対話（拠点長会議・職場行脚） ④ 企業風土改革のモニタリング 匿名従業員サーベイ（第4回以降）	実施中 <div style="background-color: #f4a460; padding: 5px; text-align: center;">完了</div> 実施中 <div style="background-color: #f4a460; padding: 5px; text-align: center;">完了</div>	2026年3月 2025年3月 2026年3月 2025年3月
(3) 情報の報告・連携の強化		
① 声を上げる会議（拠点長会議） ② 社長と従業員の対話（職場行脚） ③ コンプライアンス・ミーティングの活性化 ⑥ 管理職への研修強化（学習管理システム導入等、e-ラーニング開始）	実施中 実施中 <div style="background-color: #f4a460; padding: 5px; text-align: center;">完了</div> <div style="background-color: #f4a460; padding: 5px; text-align: center;">完了</div>	2026年3月 2026年3月 2025年3月 2025年3月
(5) 内部監査部門の強化		
第3ラインによる第1・第2ラインの監査	実施中	2026年3月

当社グループは会社報告書（2023年3月29日公表）に掲げた経営改革の推進と内部統制機能の強化を柱とする当社グループの再発防止（2023年4月～2026年3月完了予定）に全力で取り組んでおります。

2025年3月25日時点において、130項目にわたる再発防止の課題のうち111項目が完了いたしました。残る課題につきましても着実に実施し、ステークホルダーの皆様への信頼回復に努めてまいります。新生チーム日軽金として生まれ変わるべく強い覚悟をもって完遂いたします。

再発防止策の現状総括と最終年度課題

再発防止策概要の詳細につきましては、添付資料「[表2] 再発防止の進捗（2025年3月版）」をご参照ください。

1. 調査結果および再発防止の報告・共有

現状総括

最終年度課題

(1) 従業員説明



定期的に拠点長会議や職場行脚を実施し、従業員と経営層との共有推進

(2) 顧客説明



214件の不適切行為の是正が完了し、お客様に安全性の判断をいただいた

(3) 責任の所在



不適切行為に関連した処分は完了

(4) 未調査事業所の調査



13拠点にて実施



箔事業グループの未調査事業所の実施
※箔事業統合の中止決定により2025年度に調査実施予定

2. 経営改革の推進

現状総括

最終年度課題

- (1) グループ・ガバナンス体制の再構築 - グループ連携の強化
- (2) 当社とグループ会社の関係再構築
- (3) グループでの経営課題・リスクへの対処
- (4) 営業・開発・製造・品質保証・各部門による組織横断的な対応



2024年4月より企業価値向上を目的とした事業・機能組織のグルーピングをスタートし、組織構造の変革を推進（事業ポートフォリオの最適化、評価・報酬制度の見直し、グループ人材育成策定）を実施

(5) 品質保証体制の再構築

- ①当社品質保証体制の強化
- ②品質監査の強化
- ③グループ全体での品質保証体制の強化と整備
- ④グループ子会社間の協力と相互牽制の体制整備 ※④については③と統合
- ⑤品質保証機能への経営資源投下



品質保証統括室を中心に品質監査の強化、体制の独立性と権限の強化、経営資源投下による品質保証部門の適正要員の検証と配置（外注マネジメントシステムの導入済）、検査機器の自動化推進を実施中

(6) 不断の検証



改革推進室の設置、従業員サーベイの継続実施中



ステークホルダーへの進捗情報公表継続

(7) 当社取締役会による監督強化



コーポレートガバナンス・コードの原則に従い社長後継者計画の策定を示し、運用開始



取締役会における監督機能の充実を目指し、戦略的意思決定の強化とスピードアップを図り、ガバナンス改革を促進

3. 内部統制機能の強化

現状総括

最終年度課題

(1) 取締役会の監督のもとでの、実効的な内部統制システム構築・運用

内部統制システムの整備・運用、重点対策リスク・危機管理体制の見直し実施済

情報管理体制整備

(2) 企業風土の改革

(3) 情報の報告・連携の強化

(4) コンプライアンス強化活動の推進

経営方針の見直し、行動理念策定、企業理念が浸透するための対話（拠点長会議・職場行脚）の継続。企業風土改革のモニタリング、学習機関、適正法令遵守の状況の点検、「品質の日」制定

浸透・定着のための対話の継続、反復学習の継続、改革モニタリングの継続、「品質の日」取組継続

(5) 内部監査部門の強化

(6) 内部通報制度改革

内部監査部門強化（第3ラインによる第1・第2ラインの監査、監査結果の報告実行）内部通報制度強化、通報者保護、アクセシビリティ向上

実行継続

(7) 外部リソースの活用

専門人財の登用実施、外部サービスの利用実施

- 特別調査委員会の調査によって報告された不適切行為214件につきましては、2024年4月25日を持ちまして、すべての是正が完了しました。
- 安全性につきましても、すべてのお客様に説明のうえ、安全であるとのこと判断をいただきました。

説明状況	対象	説明済	(うち) ご了承済
お客様数 (延べ会社数)	4,106社	4,106社	4,106社 (100%)

(2025年3月12日付)

忌憚なく声をあげられる風土づくり（継続中）

● 拠点長会議の実施



実施者	社長・取締役
対象	拠点長（※）
目的	<ul style="list-style-type: none"> 忌憚なく声を上げられる風土づくり（直接声を上げる場） 経営者と拠点長の情報・意見交換 拠点長からの現場の現況報告 拠点長による職場への伝達（拠点長400名×20名/職場 = 8000名） 拠点長間の繋がり活性化
計画	200名/回 × 2回/月
参加人数	2024年度 3,003名 2023年度 3,637名 累計 6,640名

● 職場行脚の実施



実施者	社長・取締役
対象	従業員（拠点長除く）
目的	<ul style="list-style-type: none"> 忌憚なく声を上げられる風土づくり（直接声を聴く場） 経営者と従業員の直接対話 経営者の意思、熱意の伝達 従業員、職場実態への理解深耕 従業員間の繋がり活性化
計画	20名/回 × 400回 = 8,000 名
開催回数 参加人数	2024年度 63回 1,220名 2023年度 86回 1,542名 累計 149回 2,762名

※工場長、支店長、営業所長のほか、従業員20名以上の拠点については20名ごとに1名の代表者

- 再発防止の取組みの進捗状況につきましては、当社ホームページを通じて今後も継続的に公表させていただきます。
- 再発防止を着実に実施し、ステークホルダーの皆様の信頼回復にグループを挙げて取り組んでまいります。

【表2】再発防止の進捗（2025年3月版）

（凡例）タイトル「進捗」：「完了」対策が完了、「完了」今回報告で完了、「実施中」対策を開始し実施中、「準備中」対策の方向性・内容等を固めて実施に向け準備中、「検討中」対策の方向性・内容等を検討中。
 （注）前回報告から更新/修正/訂正した箇所は赤字で表記（「取組み/結果の概要（2024年3月）」の欄は除く）

再発防止策	取組み/結果の概要（2024年12月まで）	取組み/結果の概要（2025年2月末）	担当部署	進捗	完了(目標)
1.調査結果および再発防止の報告・共有¹					
（1）従業員説明					
<ul style="list-style-type: none"> 調査報告書をグループ内で共有する 	・品質問題の説明（職場行脚）計 208 回 2,938 名		改革推進室	完了	2023/1
	・調査報告書、ニュースリリースのイントラ掲載		企画統括室	完了	2023/3
	・社長から従業員への報告（オンライン）		企画統括室	完了	2023/3
	・社長から従業員への報告（職場行脚 ² ）	・2025年1月～3月で6回開催し、102名へ報告（累計149回、2,762名）	改革推進室	実施中	2026/3
	・社長から拠点長 ³ への報告（拠点長会議 ⁴ （対面式）） 4月計3回で365名へ報告		改革推進室	完了	2023/4
	・社長からグループ各社社長への報告（グループ経営連絡会（対面式））		企画統括室	完了	2023/5
<ul style="list-style-type: none"> グループ内から意見等を集約、共有する 	・従業員からの質問・意見等を聴収（職場行脚） ・すべての質問、意見を掲示板で共有		改革推進室	完了	2023/8
	・拠点長からの質問・意見等を聴収（拠点長会議） ・すべての質問、意見を掲示板で共有		改革推進室	完了	2023/8
（2）顧客説明					
<ul style="list-style-type: none"> 自部門の範囲 	・グループ各社・部門が顧客への謝罪と説明を実施	説明状況：対象4,106社、説明済4,106社（100%）、うち終了承済4,106社（100%）（3月12日）	各社・部門	完了	—
	・当社にて、顧客よりいただいたご質問・ご意見の集約と進捗管理 ・お問い合わせ464件、対応完了461件（99%）（6月10日現在）	お問い合わせ464件、対応完了462件（99%）（3月10日現在）	企画統括室	実施中	—
<ul style="list-style-type: none"> グループの範囲 	・グループ各社と品質保証統括室が共同で顧客への謝罪と説明を実施		各社・部門	完了	—
（3）責任の所在					
<ul style="list-style-type: none"> グループ各社役員処分（元役員を含む） 	・グループの処分方針・基準をベースに、各社就業規則に則して機関決定し、処分を実施		各社・部門 サステナビリティ推進統括室	完了	2023/5
（4）未調査事業所の調査					

¹ 再発防止を進めるうえで前提となる、従業員やお客様に現状をご理解いただくこと、不適切行為に関わった役職員の処分、特別調査委員会の調査対象外となった会社・事業所の調査などの取組みについて記載しました。

² 当社社長および/または当社取締役がグループ各社の職場を訪問し、当該職場の従業員と行う対話会のこと。1回70分の対話会で従業員約20名が参加。

³ 工場長、支店長、営業所長などのほか、従業員規模が20名以上の拠点においては従業員20名ごとに1名程度の代表者。

⁴ 当社が主催し、グループ各社・部門の拠点長が一堂に会して行う会議。当社からの報告、質疑応答、拠点長との意見交換、拠点長間の討議などを行なう。

【表2】再発防止の進捗（2025年3月版）

（凡例）タイトル「進捗」：「完了」対策が完了、「完了」今回報告で完了、「実施中」対策を開始し実施中、「準備中」対策の方向性・内容等を固めて実施に向け準備中、「検討中」対策の方向性・内容等を検討中。
 （注）前回報告から更新/修正/訂正した箇所は赤字で表記（「取組み/結果の概要（2024年3月）」の欄は除く）

再発防止策	取組み/結果の概要（2024年12月まで）	取組み/結果の概要（2025年2月末）	担当部署	進捗	完了(目標)
• 外部専門家の起用	・調査のため外部専門家を起用 ・外部専門家と業務委託契約締結		品質保証統括室	完了	2023/6
• 調査事業所決定	・集計結果および外部専門家の助言等に基づいて調査事業所を決定 アメリカ1社、メキシコ1社、タイ3社6事業所、日本1社2事業所、 中国3社3事業所		品質保証統括室	完了	2023/9
• 従業員アンケート ⁵ 実施	・実施対象者（全役職員）に沿ってアンケート設計		品質保証統括室	完了	2023/7
	・外部専門家と共同でアンケート実施 1,098名（6社10事業所）を対象に実施し、1,041名が回答 （回答率95%）		品質保証統括室	完了	2023/8
• 現地調査	・外部専門家および当社が現地往査にて調査を実施		品質保証統括室	完了	2024/2
	・対象全9社13事業所の現地調査終了				
	・外部専門家によるアンケート結果集計 ・アンケート調査結果に基づいて現地調査		品質保証統括室	完了	2023/9
• 調査報告	・中国を含む9社13事業所の現地調査が終了 ・発見事項 ⁶ のうち不適切行為に該当する事象の追加調査を実施中		品質保証統括室	完了	2024/3
• 是正	・発見事項については是正		品質保証統括室	完了	2024/3
• 再発防止	・発見事項について再発防止を実施	・再発防止が完了	品質保証統括室	完了	2025/3
• モニタリング	・再発防止策の定着状況を匿名従業員サーベイ ⁷ でモニタリング	・3回目の結果を経営者、各社CSRリーダー・推進者、拠点長へ報告	サステナビリティ推進統括室	完了	2025/3
	・品質監査（フォローアップ監査）計画（8事業所）	・4事業所のフォローアップ監査完了	品質保証統括室	完了	2025/3
2. 経営改革の推進					
（1）グループ・ガバナンス体制の再構築-グループ連携の強化					
• 子会社のグルーピング	・事業・機能組織のグルーピングを公表（2024年5月15日）	・事業・機能組織のグルーピング体制整備が完了	企画統括室	完了	2025/3
	・2023年10月自動車部品会社「日軽金ALMO」設立		企画統括室	完了	2023/10
	・メタル事業部門		企画統括室	完了	2023/4
• 当社組織改組	・事業・機能組織のグルーピングを公表（2024年5月15日）	・事業・機能組織のグルーピング体制整備が完了	企画統括室	完了	2025/3
• 各事業グループの機能強化	・事業・機能組織のグルーピングを公表（2024年5月15日）	・事業・機能組織のグルーピング体制整備が完了	企画統括室	完了	2025/3
	・事業・機能組織のグルーピングを公表（2024年5月15日）	・事業・機能組織のグルーピング体制整備が完了	企画統括室	完了	2025/3

⁵ 外部専門家が実施する対象事業所従業員向けの記名式アンケート調査のこと。

⁶ 当社と外部専門家の調査チームによる調査において、従業員アンケート、サンプルテスト、関係者インタビューなどを通じて製造、検査、管理などに問題があると判断された事象。

⁷ 外部専門家に委託して実施するグループ全従業員向けの匿名アンケート調査のこと。

【表2】再発防止の進捗（2025年3月版）

（凡例）タイトル「進捗」：「完了」対策が完了、「完了」今回報告で完了、「実施中」対策を開始し実施中、「準備中」対策の方向性・内容等を固めて実施に向け準備中、「検討中」対策の方向性・内容等を検討中。
 （注）前回報告から更新/修正/訂正した箇所は赤字で表記（「取組み/結果の概要（2024年3月）」の欄は除く）

再発防止策	取組み/結果の概要（2024年12月まで）	取組み/結果の概要（2025年2月末）	担当部署	進捗	完了(目標)
<ul style="list-style-type: none"> 子会社の管理機能・能力の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 事業・機能組織のグルーピングを公表（2024年5月15日） 	<ul style="list-style-type: none"> 事業・機能組織のグルーピング体制整備が完了 	企画統括室	完了	2025/3
（2）当社とグループ会社の関係再構築					
<ul style="list-style-type: none"> グループ間連携強化によるシナジーの創出 	<ul style="list-style-type: none"> グループ各社拠点長間での交流促進（拠点長会議） 7月より「グループ討議」を実施（継続予定） 		改革推進室	完了	2023/8
（3）グループでの経営課題・リスクへの対処					
<ul style="list-style-type: none"> グループ横断的なリスクマネジメントの取組み強化 	<ul style="list-style-type: none"> 各種の経営施策に付随するリスク（副作用）への認識強化し、リスク管理を行う リスク・危機管理の体制に経営施策や中計/予算管理の事務局（企画統括室）を加え、経営施策の副作用に注視していく体制を整備 サステナビリティ推進統括室監査担当を加えて管理強化 		サステナビリティ推進統括室	完了	2024/3
	<ul style="list-style-type: none"> 法令違反リスクを「重点対策リスク⁸」に指定（グループリスク管理規則改定） 		サステナビリティ推進統括室	完了	2023/11
	<ul style="list-style-type: none"> リスクへの対処について、計画的に進める（マイルストーン、KPIの設定） リスクマネジメントミーティング⁹結果を踏まえてグループ危機管理委員会を開催し、リスク/危機のグループ横断的な把握・対応を開始 		サステナビリティ推進統括室	完了	2024/3
	<ul style="list-style-type: none"> リスク顕在化（危機発生）時の体制・ルール整備 体制・ルール整備が完了 リスク/危機管理体制の運用を開始 		企画統括室	完了	2024/3
	<ul style="list-style-type: none"> 体制・ルール整備が完了し、運用方法を整備後、緊急時訓練を実施 		企画統括室	完了	2024/9
（4）営業・開発・製造・品質保証・各部門による組織横断的な対応					
<ul style="list-style-type: none"> 実現可能性を科学的・合理的に検証・判断でき、営業・開発・製造・品質保証が合意できるルール・体制づくり（新規受注時・4M 変更時の対応強化） 	<ul style="list-style-type: none"> 新規性リスク評価プロセスの導入・運用 		品質保証統括室	完了	2022/4
<ul style="list-style-type: none"> 営業・開発・製造・品質保証部門間での組織横断対応（上市後の対応強化） 	<ul style="list-style-type: none"> 生販会議等による受注可否や不適合管理の運用見直し 品質保証実務担当者会議にて各社・部門の事例を共有予定 品質保証実務担当者会議にて、各社・部門の事例を共有 		各社・部門	完了	2023/12
	<ul style="list-style-type: none"> 事業責任者（＝品質保証・管理責任者）は、受注生産調整に係るリスクを認識し、部門間連携のための役割を積極的に果たす 		各社・部門	完了	2023/11

⁸ リスクベースアプローチにもとづいて特に蓋然性が高いと評価したリスクで、グループとして当該リスクの主管部署を定め、総合的な管理を行う。（「グループリスク管理規則」による）

⁹ 重点対策リスク（適用法令違反、品質問題、環境問題、自然災害・事故災害、情報セキュリティ問題、安全保障輸出管理、適時開示の懈怠、地政学リスク）の主管部門とリスク管理担当役員の協議体。リスクごとと四半期ごとに実施。

【表2】再発防止の進捗（2025年3月版）

（凡例）タイトル「進捗」:「完了」対策が完了、「完了」今回報告で完了、「実施中」対策を開始し実施中、「準備中」対策の方向性・内容等を固めて実施に向け準備中、「検討中」対策の方向性・内容等を検討中。
 （注）前回報告から更新/修正/訂正した箇所は赤字で表記（「取組み/結果の概要（2024年3月）」の欄は除く）

再発防止策	取組み/結果の概要（2024年12月まで）	取組み/結果の概要（2025年2月末）	担当部署	進捗	完了(目標)
	・新任の品質保証・管理責任者への新規性リスクの説明会完了				
（5）品質保証体制の再構築					
①当社品質保証体制の強化					
品質保証統括室の独立性・権限の強化					
・室長の専任役員化	・室長の専任化による独立性の確保		品質保証統括室	完了	2023/3
・室長サポート体制整備	・外部アドバイザースタッフの登用		品質保証統括室	完了	2023/5
②品質監査の強化					
・品質監査の体制・ルールの整備	・品質監査基準の見直し（監査内容、監査範囲等）		品質保証統括室	完了	2023/4
・定期監査	・グループ各社に対する品質監査を実施 ・1事業所実施（残0事業所）		品質保証統括室	完了	2024/1
・フォローアップ監査	・不適切行為に対する是正状況の確認 ・再発防止状況の確認		品質保証統括室	完了	2023/8
・JIS監査	・JIS認証に係る事業所に対する品質監査を実施 ・2事業所実施し、重大な問題はなかった（残0事業所）		品質保証統括室	完了	2024/2
③グループ全体での品質保証体制の強化と整備					
・独立性と権限の強化	・品質保証部門責任者の専任化		各社・部門	完了	2023/10
	・独立化に向けて組織体制見直し完了		各社・部門	完了	2023/4
	・品質保証部門責任者の権限強化（出荷停止権限付与,当社規則改定）		各社・部門	完了	2023/10
・体制・ルールの整備	・品質保証部門の独立性強化（各社社長・事業所長直轄へ）		各社・部門	完了	2023/10
	・独立化に向けて組織体制見直し完了		各社・部門	完了	2023/10
・構成員の人事評価見直し	・現状体制・ルールの調査		各社・部門	完了	2023/4
	・新規性リスク評価導入に向けた規則の見直し継続中（残1事業所）	・残1事業所で規則改定等の整備完了（25年4月から運用開始）	各社・部門	完了	2025/3
・グループ各社・事業所のグループ化	・独立性・権限を維持できる評価方法の整備	・タレントマネジメント運用開始	品質保証統括室	完了	2025/3
	・「⑤人員補充・育成計画策」の取組で予定しているタレントマネジメントを援用し、グループ全体の品質保証人財ローテーションを推進する。	・品質保証・管理規則に、「事業部門の品質保証部門の組織変更、重要な人事異動の実施前に品質保証統括室長への報告と合意」を規定（追加）			
・グループ各社・事業所のグループ化	・各社・事業所の品質保証部門の組織変更および重要な人事異動について、予め品質保証統括室長へ報告し合意を得る体制を構築する。		品質保証統括室	完了	2023/6
	・最適グループの調査・検討		各社・部門	完了	2023/6
	・品質監査などで運用する取扱い製品や製造方法によるグループ化		品質保証統括室	完了	2023/6
	・事業所の困りごと、相談ごとへの必要な支援実施		品質保証統括室	完了	2023/6

【表2】再発防止の進捗（2025年3月版）

（凡例）タイトル「進捗」：「完了」対策が完了、「完了」今回報告で完了、「実施中」対策を開始し実施中、「準備中」対策の方向性・内容等を固めて実施に向け準備中、「検討中」対策の方向性・内容等を検討中。
 （注）前回報告から更新/修正/訂正した箇所は赤字で表記（「取組み/結果の概要（2024年3月）」の欄は除く）

再発防止策	取組み/結果の概要（2024年12月まで）	取組み/結果の概要（2025年2月末）	担当部署	進捗	完了(目標)
• 情報の共有化	• 子会社のクレーム低減活動など事業部への支援を実施中				
	• 「重大品質問題」を含む重要情報を社外取締役へ随時報告 • 社外取締役を報告ルートに追加		品質保証統括室	完了	2023/6
	• 事業所品質保証部門と品質保証統括室の連携強化（月報） • 月報の運用開始		品質保証統括室	完了	2023/9
• 機構改革	• 「グループ品質委員会」機構改革		品質保証統括室	完了	2023/3
	• 「品質保証実務担当者会議」設置		品質保証統括室	完了	2023/3
⑤ 品質保証機能への経営資源投下					
• 適正人員の把握の指導・支援	• 品質保証部門の適正要員の検証と配置に関する運用案検討継続中	• 品質保証・管理規則に、「事業部門の品質保証部門の組織変更、重要な人事異動の実施前に品質保証統括室長への報告と合意」を規定（追加） • 改定次第運用開始予定	品質保証統括室	実施中	2025/4
• 人員補充・育成計画策定、実行の指導・支援	• 品質保証部門の人材育成・補充計画策定・実施		品質保証統括室	完了	2024/3
	• 人材マップの作成				
	• 品質教育（JIS、ISO9001等）の実施（8、9月） • コンプライアンス教育の実施（3月） • QFD ¹⁰ 教育の実施（5、8、11、12月）		各社・部門	完了	2024/3
• 検査プロセスの点検と整備	グループ各社の試験・検査プロセスと適合性確認 • 品質総点検の実施（11月～3月）		品質保証統括室	完了	2024/3
• 検査機器の自動化推進	• 事業所の試験・検査プロセス自動化（検査データ処理含む） • 事業所の試験・検査設備の自動化推進の支援中（例：試験データを自動伝送するシステム構築）	• 各事業所の推進状況を確認中	品質保証統括室	実施中	2026/3
（6） 不断の検証					
• 再発防止策の検証	• 当社社長直轄の「改革推進室」を設置、活動開始		改革推進室	完了	2023/4
	• 進捗管理および効果検証	• 進捗に大幅な遅れがあるものはない。	改革推進室	実施中	2026/3
	• 進捗状況の公表（2024年9月）	• 進捗状況の公表（2025年3月） • 次回：2025年6月予定	改革推進室	実施中	2026/3
（7） 当社取締役会による監督強化					
• 計画的な後継者育成・登用	• スキル・マトリックス、育成計画のアップデート • ガバナンス強化の観点で社長等のサクセッションプラン ¹¹ を策定	• 当社社長のサクセッションプランを策定・公開し運用開始	社長	完了	2025/3

¹⁰ Quality Function Deployment の略。品質機能展開。顧客の要求を製品に関する技術的な特性、仕様につなげるための品質管理の手法。

¹¹ 人材育成と事業継続の観点から、社長をはじめとする経営幹部の後継者集団を特定し、計画的に育成すること。

【表2】再発防止の進捗（2025年3月版）

（凡例） タイトル「進捗」：「完了」対策が完了、「完了」今回報告で完了、「実施中」対策を開始し実施中、「準備中」対策の方向性・内容等を固めて実施に向け準備中、「検討中」対策の方向性・内容等を検討中。
 （注） 前回報告から更新/修正/訂正した箇所は赤字で表記（「取組み/結果の概要（2024年3月）」の欄は除く）

再発防止策	取組み/結果の概要（2024年12月まで）	取組み/結果の概要（2025年2月末）	担当部署	進捗	完了(目標)
• 取締役会運営面での改善	• 情報提供のタイミング、質・量の改善 • 特別調査委員会やガバナンス専門の弁護士による指摘なども踏まえ取締役会における議論のあり方を明文化、それに必要な資料作成のポイント・送付タイミング等をルール化	• 取締役会の監督機能に即した運営について取締役会にて議論、今後も継続的な議論と、議論に基づく運営改善を実施（継続中）	サステナビリティ推進統括室	実施中	2025/6
	• 内部統制報告の内容、情報量、頻度等の最適化 • F23 上半期報告内容を見直し • 取締役会からの意見を踏まえ更に改善	• 見直し後の報告を2024年11月に実施済、取締役会実効性評価におけるアンケート結果などを踏まえて継続的な改善を図る（継続中） • 取締役会の機能見直しに伴い継続的に改善（継続中）	サステナビリティ推進統括室	実施中	2025/6

3. 内部統制機能の強化

(1) 取締役会の監督のもとでの、実効的な内部統制システム構築・運用

• 実効的な内部統制システム構築・運用	「内部統制システム整備の基本方針」見直し		サステナビリティ推進統括室	完了	2023/4
	• コンプライアンス体制 グループ行動規範(グループコンプライアンスコード)、コンプライアンス推進計画、コンプライアンスミーティング、グループホットラインの見直しが完了 グループ各社・部門の F24 コンプライアンス推進計画を確認	• F24 冬季コンプライアンスミーティング終了。 ミーティング結果を精査し、F25 コンプライアンス推進計画へ反映	サステナビリティ推進統括室	実施中	2026/3
	• リスク管理体制 グループリスク管理体制の見直し（グループリスク管理規則改定） グループ危機管理体制の整備（グループ危機管理規則制定） リスク/危機管理体制の運用開始		企画統括室 サステナビリティ推進統括室	完了	2024/3
	• 財務報告に係る内部統制システム 「IT 統制の強化」：すべての IT システムの統制を強化 対象システムすべての IT 全般統制の有効化を継続中		サステナビリティ推進統括室	完了	2024/4
	「ワンオペ撲滅」：一人作業をなくす取組みを開始 小規模会社を対象にしたワンオペの調査および解消に向けた取組みを実施中		サステナビリティ推進統括室	完了	2024/3
	• 情報保存管理体制 情報保存をサーバからクラウドへ順次移行	• 情報保存をサーバからクラウドへ順次移行（継続中） • 業務改革 PJT を立ち上げて情報共有・活用等に着手	企画統括室	実施中	2026/3
	• 効率的職務執行体制 機構改革（6/25 付）の実効性を高める職務執行体制を協議、構築	• 事業・機能組織のグルーピング体制整備が完了 • 組織運用規則改定（25年3月）	企画統括室	完了	2025/3
	• その他のグループ内部統制システム 機構改革（6/25 付）の実効性を高める内部統制推進体制を構築	• 機構改革に合わせて内部統制システム整備の基本方針改定（25年3月）あるべき姿を検討中	企画統括室 サステナビリティ推進統括室	完了	2025/3

【表2】再発防止の進捗（2025年3月版）

（凡例）タイトル「進捗」：「完了」対策が完了、「完了」今回報告で完了、「実施中」対策を開始し実施中、「準備中」対策の方向性・内容等を固めて実施に向け準備中、「検討中」対策の方向性・内容等を検討中。
 （注）前回報告から更新/修正/訂正した箇所は赤字で表記（「取組み/結果の概要（2024年3月）」の欄は除く）

再発防止策	取組み/結果の概要（2024年12月まで）	取組み/結果の概要（2025年2月末）	担当部署	進捗	完了(目標)
<ul style="list-style-type: none"> 取締役会による監督 	<ul style="list-style-type: none"> 内部統制報告の内容、情報量、頻度等の最適化 F23 上半期報告内容を見直し 取締役会からの意見を踏まえ更に改善 		企画統括室 サイバーセキュリティ推進統括室	完了	2023/11
（2）企業風土の改革					
①経営方針等の見直し・再定義					
<ul style="list-style-type: none"> 「グループ経営方針」改定 	<ul style="list-style-type: none"> グループ経営方針の改定 		企画統括室	完了	2022/5
<ul style="list-style-type: none"> 「行動理念」策定 	<ul style="list-style-type: none"> グループ各社の中堅社員による「行動理念策定プロジェクト」実行¹² グループ行動理念策定 		企画統括室 新・行動理念策定プロジェクトチーム ¹³	完了	2023/4
<ul style="list-style-type: none"> 「行動規範（グループコンプライアンスコード）」改定 	<ul style="list-style-type: none"> 関係者による改定案審議 グループコンプライアンスコード改定 		サイバーセキュリティ推進統括室	完了	2023/4
②新しい企業理念が役職員へ浸透、定着するための取組み					
<ul style="list-style-type: none"> 経営者-従業員の対話 	<ul style="list-style-type: none"> 「品質問題」をテーマに職場行脚開催計 208 回 2,938 名(2022/7-2023/1) 「品質問題調査結果と再発防止」をテーマに拠点長会議開催 365 名参加 「新しい経営方針、行動理念、グループコンプライアンスコード」をテーマに拠点長会議開催 324 名参加 「品質問題調査結果と再発防止」をテーマに職場行脚開催 	<ul style="list-style-type: none"> 2025年1月～3月で6回開催し、102名へ報告（累計149回、2,762名） 	品質保証統括室 改革推進室 改革推進室 改革推進室	完了 完了 完了 実施中	2023/1 2023/4 2023/5 2026/3
<ul style="list-style-type: none"> ハンドブック¹⁴配付 	<ul style="list-style-type: none"> ハンドブックを全従業員へ配付（日本語版） ハンドブック翻訳版を配付（英語、中国語、フランス語、ヒンディー語、ベトナム語、タイ語、スペイン語、ポルトガル語） 配布完了（8言語計4,339部） 		企画統括室 企画統括室	完了 完了	2023/6 2023/7
<ul style="list-style-type: none"> 反復学習 	<ul style="list-style-type: none"> 会議冒頭での輪読、読合せ グループ経営会議ほか、会議冒頭で輪読、読合せ eラーニングによる学習 データ改ざん防止をテーマにしたコミックコンテンツを日本軽金属(株)で実施（受講率99%）。 	<ul style="list-style-type: none"> F24 下期に順次グループ会社へ展開 	各社・部門 当社全部門	完了 完了	2024/3 2025/3

¹² 新・行動理念は、【“全社員参加型”による“日軽金グループらしさの体験”をベースに策定する】というコンセプトのもと、グループ社員から投稿された“日軽金グループらしさの体験”（募集期間：2022年10月31日～2022年11月13日、投稿総数：239件）およびプロジェクトメンバーの体験談をもとに、日軽金グループで働こうと大切にしたい価値観、行動基準を成文化しています。

¹³ 2022年5月のグループ経営方針の改定に伴い、新たにグループ行動理念を策定するために2022年10月に結成した「新・行動理念策定プロジェクトチーム」のこと。メンバーは、グループ16社（日本軽金属、日軽物流、日軽パネルシステム、東陽理化学研究所、日軽産業、日軽エムシーアルミ、日軽松尾、日軽エンジニアリング、日本電極、日軽情報システム、日本フルーフ、エヌ・ティー・シー、日軽蒲原、日軽金アクト、日軽新潟、理研軽金属工業）36名が集合。2022年11月から2023年4月まで活動しました。

¹⁴ グループ経営方針、グループ行動理念、グループコンプライアンスコード等を収録した携行用小冊子。日本語、英語、中国語、タイ語、ベトナム語、スペイン語、ポルトガル語、フランス語、ヒンディー語の各版がある。

【表2】再発防止の進捗（2025年3月版）

（凡例）タイトル「進捗」：「完了」対策が完了、「完了」今回報告で完了、「実施中」対策を開始し実施中、「準備中」対策の方向性・内容等を固めて実施に向け準備中、「検討中」対策の方向性・内容等を検討中。
 （注）前回報告から更新/修正/訂正した箇所は赤字で表記（「取組み/結果の概要（2024年3月）」の欄は除く）

再発防止策	取組み/結果の概要（2024年12月まで）	取組み/結果の概要（2025年2月末）	担当部署	進捗	完了(目標)
	・冬季コンプライアンスミーティング、拠点長会議（24年1月）で行動変容、職場の変化について振り返り、情報共有を実施		改革推進室	完了	2024/3
・浸透、定着のモニタリング	・第3回の匿名従業員サーベイから理念等の浸透度に係る項目を追加	・匿名従業員サーベイにおいて、それぞれ、経営方針 80%、行動理念 82%、コンプライアンスコード 82%の従業員が「ある程度理解されている」「ほとんど理解されている」「十分理解されている」と回答 ・引き続き、浸透、定着を継続	サステナビリティ推進統括室	完了	2025/3
③忌憚なく声を上げられる風土づくり					
・経営者-従業員の対話	・品質行脚計 208 回 2,938 名(2022/7-2023/1) ・拠点長会議		品証保証統括室	完了	2022/7
	・職場行脚	・2025年1月～3月で4回、のべ538名が参加（累計43回、6,640名）	改革推進室	実施中	2026/3
		・2025年1月～3月で6回開催し、102名へ報告（累計149回、2,762名）	改革推進室	実施中	2026/3
・全従業員参加型「コンプライアンス・ミーティング」および「コンプライアンス推進計画」への反映	③コンプライアンス推進計画▶④（例）ルールと実態の乖離を解消▶⑤匿名従業員サーベイ▶⑥コンプライアンス推進計画修正、F23 冬季コンプライアンスミーティングは、行動変容、職場の変化をテーマに実施	・F24 冬季コンプライアンスミーティング終了。 ・匿名従業員サーベイおよびミーティング結果を精査し、F25 コンプライアンス推進計画へ反映	サステナビリティ推進統括室	実施中	2025/6
④企業風土改革のモニタリング					
・匿名従業員サーベイ	回答率	リーダーの姿勢 ¹⁵	非倫理的行為を誘発する環境 ¹⁶		
第1回 2021/8	91%	スコア ¹⁷ 65	スコア 52		完了 2021/8
第2回 2022/10	90%	スコア 66	スコア 53	サステナビリティ推進統括室	完了 2022/10
第3回 2024/10	80%	スコア 69	スコア 54		完了 2024/10
・第4回以降	・サーベイの実効性向上と効果的活用	・結果を参考に、職場環境の改善を実施	・職場環境の改善を進め、一定期間後4回目のサーベイを実施		完了 2025/3
・コンプライアンスミーティングのモニター	・F23 夏季コンプライアンスミーティング 上長からの声かけ、雰囲気の変化、質問/報告の増加などの職場での変化の兆候が数多く報告された。	・F24 冬季コンプライアンスミーティング終了。 ・匿名従業員サーベイおよびミーティング結果を精査し、F25 コンプライアンス推進計画へ反映	サステナビリティ推進統括室	実施中	2025/6
（3）情報の報告・連携の強化					
①「声を上げる会議」	・拠点長会議	・2025年1月～3月で4回、のべ538名が参加（累計43回、6,640名）	改革推進室	実施中	2026/3
②社長と従業員の対話	・職場行脚	・2025年1月～3月で6回開催し、102名へ報告（累計149回、2,762名）	改革推進室	実施中	2026/3

¹⁵ 質問文「日軽金ホールディングスの社長は、業績よりもコンプライアンスが優先されることを役員や従業員等に対して本気で要求していると思いますか。」に対して、回答選択肢は「全くそう思わない」「そう思わない」「どちらともいえない」「そう思う」「まさにそう思う」の5択となっています。

¹⁶ 非倫理的行為を誘発する環境に関する11の質問のうち、質問文「問題点を指摘しづらい雰囲気があると思いますか。」に対して、回答選択肢は「全くそう思わない」「そう思わない」「どちらともいえない」「そう思う」「まさにそう思う」の5択となっています。

¹⁷ 質問ごとに、選択肢の加重平均スコアを算出したもの（100点満点）。

【表2】再発防止の進捗（2025年3月版）

（凡例） タイトル「進捗」：「完了」対策が完了、「完了」今回報告で完了、「実施中」対策を開始し実施中、「準備中」対策の方向性・内容等を固めて実施に向け準備中、「検討中」対策の方向性・内容等を検討中。
 （注） 前回報告から更新/修正/訂正した箇所は赤字で表記（「取組み/結果の概要（2024年3月）」の欄は除く）

再発防止策	取組み/結果の概要（2024年12月まで）	取組み/結果の概要（2025年2月末）	担当部署	進捗	完了(目標)
③コンプライアンスミーティングの活性化	・ミーティング・ツールの充実		サテライト推進統括室	完了	2023/6
	・冬季コンプライアンスミーティング、拠点長会議（24年1月）で行動変容、職場の変化について振り返り、情報共有を実施		各社・部門	完了	2024/2
	・他職場間の意見交換（クロス・コンプライアンスミーティング）	・「事業グループ」（6/25付機構改革）内でのクロスミーティングを実施	サテライト推進統括室	完了	2025/3
④レポートラインの明確化、実効性向上	・グループ危機管理委員会で協議、決定		サテライト推進統括室	完了	2024/3
⑤速報システムの見直し	・グループ危機管理委員会で協議、決定		サテライト推進統括室	完了	2024/3
	・グループ危機管理委員会で協議、決定		サテライト推進統括室	完了	2024/3
⑥管理職への研修強化	・学習管理システム導入 学習管理システム運用開始（日本軽金属(株)）	・対象会社を順次拡大 ・コンテンツ順次拡大	企画統括室	完了	2025/3
	・eラーニング開始 コンプライアンス研修コンテンツを配信：受講率 99%(日本軽金属(株))	・対象会社を順次拡大 ・コンテンツ順次拡大	当社全部門	完了	2025/3
⑦危機管理対応の体制強化 → 2. (3)「グループでの経営課題・リスクへの対処」へ統合					
(4) コンプライアンス強化活動の推進					
①調査報告書公表の日を「品質の日」とする	・トップメッセージ発信 ・ケーススタディによる職場討議 ・コンプライアンス講演会：2回で1,783名が参加 ・ポスター配布/サイネージ配信 ・啓発ツール（キャッチフレーズ決定、アイコン化、アイコンシール配布、アイコン入りクッキー配布）		改革推進室	完了	2024/3
②JIS 遵守体制の強化 → 2. (5)「品質保証体制の再構築」へ統合					
③コンプライアンス教育の強化					
・「重点対策リスク」指定	・法令違反リスクを「重点対策リスク」に指定（グループリスク管理規則改定）		サテライト推進統括室	完了	2023/11
・新/改定法令等情報モニタリングと展開の体制	・適用法令等改正情報収集、共有、対応支援		サテライト推進統括室	完了	2023/9
	・適用法令を収集一元化、併せて、対応に課題を抱える部門・法令を特定		サテライト推進統括室	完了	2023/4
	・外部サービスを活用しつつ情報収集・展開の体制整備・強化を順次実施		サテライト推進統括室	完了	2023/4
・グループ子会社の法令等遵守管理体制	・適用法令等遵守状況の点検		サテライト推進統括室	完了	2023/9
	・各社適用法令を洗い出し・一元化、管理に課題がある分野を特定 ・外部サービスを活用しつつ管理体制の整備・強化を順次実施 ・経営者に対する法令遵守再教育		サテライト推進統括室	完了	2023/9

【表2】再発防止の進捗（2025年3月版）

（凡例）タイトル「進捗」：「完了」対策が完了、「完了」今回報告で完了、「実施中」対策を開始し実施中、「準備中」対策の方向性・内容等を固めて実施に向け準備中、「検討中」対策の方向性・内容等を検討中。
 （注）前回報告から更新/修正/訂正した箇所は赤字で表記（「取組み/結果の概要（2024年3月）」の欄は除く）

再発防止策	取組み/結果の概要（2024年12月まで）	取組み/結果の概要（2025年2月末）	担当部署	進捗	完了(目標)
	<ul style="list-style-type: none"> 当社グループ役員に対する社内研修に有識者を招き、善管注意義務ほか経営者の責任について再確認する機会を提供（毎年継続） 当社グループ会社の役員が一堂に会する研修にて、ガバナンス専門の弁護士より「経営者に求められる法令遵守-取締役の義務を尽くすための判断プロセス」をテーマに講演（2023年10月） 				
	<ul style="list-style-type: none"> 従業員に対する法令遵守教育 当社グループ新任管理職に対する社内研修において、品質問題から得られた教訓を再確認する機会を提供（毎年継続） 当社グループ管理職研修にて特別調査委員会による指摘も踏まえて「データ改ざん・ねつ造の法的責任」をテーマに講義（2023年10月） 		サテライト推進統括室	完了	2023/9
品質コンプライアンス教育	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス講演会 ①「行動科学の視点から倫理問題を考える」3回計 1,113名参加 ②「コミュニケーション不全是不祥事につながる」2回計 1,680名参加 ③「違反事例とコンプライアンス」2回計 1,783名が参加 		品質保証統括室 サテライト推進統括室	完了	2021/12
			品質保証統括室 サテライト推進統括室	完了	2022/12
			品質保証統括室 サテライト推進統括室	完了	2024/3
（5）内部監査部門の強化					
第3ラインによる第1・第2ラインの監査	<ul style="list-style-type: none"> 第2ラインの監査に第3ラインとして継続的に立ち合い 監査の体制を確認 	品質保証統括室および環境保全・安全衛生統括室等の第2ラインによる第1ラインの監査に帯同し監査体制を確認（継続中）	サテライト推進統括室	実施中	2026/3
監査結果の取締役会・監査役会報告	<ul style="list-style-type: none"> 半期に一度、内部統制の状況報告の一環として監査の状況を報告 11月取締役会へ報告 		サテライト推進統括室	完了	2023/11
（6）内部通報制度改革					
通報者保護等の強化	<ul style="list-style-type: none"> 内部通報制度改定 内部通報制度専用情報管理システム導入 		サテライト推進統括室	完了	2022/6
			サテライト推進統括室	完了	2022/4
内部通報制度の周知、啓発	<ul style="list-style-type: none"> 啓発資料作成、配信 		サテライト推進統括室	完了	2022/6
アクセシビリティ向上	<ul style="list-style-type: none"> 内部通報制度および運用状況の公開情報拡大 従事者に技術者配置 社長・経営者からの呼びかけ（拠点長会議、職場行脚） リエンシー制度のPR 	<ul style="list-style-type: none"> 啓発・呼びかけを継続中 「品質の日」にトップメッセージを発信 	サテライト推進統括室	完了	2023/3
			サテライト推進統括室	完了	2023/5
			サテライト推進統括室	実施中	2026/3
			サテライト推進統括室	完了	2023/8

【表2】再発防止の進捗（2025年3月版）

（凡例）タイトル「進捗」：「完了」対策が完了、「完了」今回報告で完了、「実施中」対策を開始し実施中、「準備中」対策の方向性・内容等を固めて実施に向け準備中、「検討中」対策の方向性・内容等を検討中。

（注）前回報告から更新/修正/訂正した箇所は赤字で表記（「取組み/結果の概要（2024年3月）」の欄は除く）

再発防止策	取組み/結果の概要（2024年12月まで）	取組み/結果の概要（2025年2月末）	担当部署	進捗	完了(目標)
	・夏季コンプライアンスミーティングで周知				
(7) 外部リソースの活用					
・ 専門人材の登用	・ 中途採用、グループ内登用 ・ 品質アドバイザーを登用		当社全部門	完了	2023/9
・ 外部サービスの利用	・ 未調査事業所調査にコンサルタントを起用 コンサルタントと共同で品質調査に着手		品質保証統括室	完了	2023/6